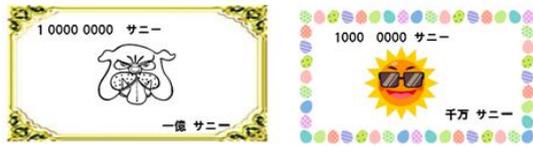


オープンプラン3年生 算数「大きな数」

子どもが「大きな数」の単元でつまづく理由の1つに、『数が大きすぎてイメージできない』ことが考えられます。そこで、架空の通貨（1000万サニー札、1億サニー札、10億サニー札、100億サニー札）を使って、大きな数の計算（ $20000000000+50000000000=$ ）、



数の構成（38000は1000を口集めた数など）ができるようになることをねらいにして授業をおこないました。



お客さんと店屋さんに分かれて、カードに描かれている商品のやり取りをしていきます。お店屋さんは、お客さんが注文した品物の合計やおつりの計算をします。



お客さんは合計金額に合うようにお札（1000万サニー、1億サニー、10億サニー、100億サニー）を数えてだします。



はじめは、計算することやお札を支払うのに時間がかかっていた子どもたちですが、授業が進むにつれて1000万サニーが10枚で1億サニーになるなどの位取りができるようになっていき、楽しみながら意欲的に勉強していました。